



2024年2月13日

各 位

会 社 名 大和重工株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 田中 宏典  
(東証スタンダード コード番号 5610)  
問合せ先 常務取締役  
企画管理本部長 大津 雅明  
(TEL 082-814-2101)

### 2023年12月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2023年8月10日に公表いたしました、2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期業績予想と本日発表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年12月期通期の業績予想と実績との差異(2023年1月1日～2023年12月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,400	百万円 10	百万円 140	百万円 90	円 銭 68.36
当期実績値(B)	4,382	△29	103	66	50.31
増減額(B-A)	△18	△39	△37	△24	
増減率(%)	△0.4	—	△26.4	△26.7	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	3,865	△61	63	70	53.77

#### 2. 通期業績予想と実績との差異の理由

2023年12月期の通期業績につきましては、産業機械関連事業については、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和により、経済活動が正常化していく中で、企業の設備投資も回復傾向が続いたことから、工作機械鋳物部品やディーゼルエンジン部品の受注は前年に比べ増加し、売上高は予想を上回りましたが、9月以降中国経済の減速から大型の工作機械鋳物部品の受注が減少したことで工場の稼働率が低下し、利益面では低下しております。住宅機器関連事業については、インバウンド需要の高まりからホテル・旅館などの宿泊施設の新設・改修案件が増加し「五右衛門風呂」、「やまと風呂」の販売は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和により、外出を伴う消費機会が増加することで、コロナ禍で一時的に高まった住宅リフォーム需要が減少したことや新設住宅着工戸数の減少により「鋳物ホーロー浴槽」の販売は減少し、売上高は当初の予想を下回りました。結果、全体としての売上高は予想を僅かに下回りました。

損益面においては、経費削減や生産の効率化に取り組んでまいりましたが、資材価格の高騰、工場稼働率の低下から営業利益、経常利益、当期純利益は予想を下回る結果となりました。

以 上